

(附)第一高等學校校友會規則

第一款 總則

第一條 本會ハ第一高等學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ第一高等學校職員生徒全部ヲ以テ組織ス

第三條 本會ノ目的ハ會員ノ親睦ヲ厚ウシ心身ノ修養ヲ圖リ以テ校風ヲ發揚スルニアリ

第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ諸部ヲ置ク

- 文藝部
- 端艇部
- 擊劍部
- 柔道部
- 弓術部
- 野球部
- 陸上運動部
- 水泳部
- 辯論部
- 旅行部
- 庭球部
- フ式蹴球部
- ラ式蹴球部

第五條 本會各部ニ於テ部則ヲ設クルトキハ會長ノ認可ヲ經ヘシ

第六條 本會々員ハ少クトモ一部ノ技藝ヲ修ムルコトヲ要ス

第二款 役員

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 一名 本校校長ヲ推ス
- 一 副會長 一名 本校教頭ヲ推ス
- 一 理事 二名 本校幹事及寮務主任ヲ推ス
- 一 但シ幹事二名アルトキハ三名トス又幹事一名ナルトキハ時宜ニ依リ一名ヲ増加スルコトヲ得此ノ場合ニハ教授中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 一 部長 十三名 各部一名トシ本校教授ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 一 委員 四十五名 文藝部及辯論部五名端艇部及水泳部四名其ノ他ノ各部ヲ三名トシ各部員ノ互選ニ依ル
- 一 事務員 若干名 本校職員ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 一 顧問 若干名 本校職員ヨリ會長之ヲ囑託ス

- 一 職員總代 三名 本校職員ノ互選ニ依ル
 - 一 生徒總代 三十一名 本校文科理科ノ各組及ヒ特設豫科ヨリ各一名ツ、互選ニ依ル
 - 一 會計検査員 七名 三名ハ職員總代ヲ以テ之ニ充テ四名ハ第十一條ノ生徒總代ノ互選ニ依ル
- 第八條 本會役員ノ任務左ノ如シ
- 一 會長ハ會務ヲ總理ス
 - 一 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
 - 一 理事ハ本會ノ事務ヲ分掌ス
 - 一 部長ハ各其ノ部ノ事務ヲ管理ス
 - 一 委員ハ部長ノ指揮ヲ承ケ其ノ部ノ事務ヲ處理ス
 - 一 事務員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ本會ノ庶務及會計ニ從事シ兼テ各部ノ事務ヲ補佐ス

- 一 顧問ハ部長ノ需ニ應シ其ノ事務ニ參與ス
 - 一 職員總代ハ職員ヲ代表シテ役員總會ニ參列ス
 - 一 生徒總代ハ生徒ヲ代表シテ役員總會及ヒ豫算委員會ニ參列ス
 - 一 會計検査員ハ本會ノ會計ヲ検査ス
- 第九條 會長副會長理事部長事務員ハ職員總代タルコトヲ得ス委員ハ二部以上ヲ兼ヌルコトヲ得ス又生徒總代タルコトヲ得ス
- 第十條 委員ノ任期ハ毎年三月ヨリ翌年二月マテノ一ケ年トシ毎年二月改選スルモノトス
- 職員總代及生徒總代ノ任期ハ毎年十一月ヨリ翌年十月迄ノ一ケ年トシ毎年十一月上旬改選スルモノトス
- 職員總代及生徒總代ハ再選スルコトヲ得ス但シ職員總代ノ内一名ハ前任者ノ内ヨリ抽籤ニ依リ留任スルモノトス留任者ハ二名ヲ超ユルコトヲ得ス

第三款 役員總會

第十一條 役員總會ハ左ノ役員ヲ以テ組織シ會長之ヲ司會ス

一 會長

二 副會長

三 理事

四 一部

五 委員

六 職員總代

七 生徒總代

八 丙ノ總代中ニテ各一名、理科甲ノ總代中ニテ各一名、乙ノ總代中ニテ各一名ヲ互選セルモノ及ヒ特設豫科總代一名

第十二條 役員總會ハ毎年一回二月ニ之ヲ開ク但シ會長ニ於テ必要ト認メタルトキハ臨時ニ之ヲ開クコトアルヘシ

第十三條 役員總會ハ其ノ出席者總會員ノ半數ニ滿タサルトキハ之ヲ開クコトヲ得ス

第十四條 役員總會ニ於テ行フヘキ事項左ノ如シ

一 庶務及會計ノ報告

二 重要ノ議事

第十五條 理事以外ノ役員ヨリ提出スル議案ハ役員二十名以上ノ賛成ヲ得テ役員總會ノ一週間以前ニ理事ヲ經テ會長ニ提出スヘシ
緊急議案ハ會長之ヲ議場ニ上スノ可否ヲ議場ニ諮リ過半數ノ賛成ヲ得テ之ヲ議案トス

第十六條 役員總會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第十七條 第十一條ニ掲ケタル以外ノ委員生徒總代及事務員顧問ハ會議ニ參列シ意見ヲ陳フルコトヲ得ルモ決議ノ數ニ加ハラサルモ

ノトス

第十八條 決議ノ事項ハ會長ノ認可ヲ經テ効力ヲ生スルモノトス
第十九條 會長ノ認可ヲ經タル決議ノ事項ハ本會雜誌ニ廣告ス

第四款 會計

第二十條 本會ノ經費ハ會員ノ會費金入會金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二十一條 生徒ノ會費ハ一ケ年金拾參圓トシ第三學期金貳圓第一學期金六圓第二學期金五圓ヲ授業料ト同時ニ納ムヘシ
前項第三學期十二月收入ノ生徒會費ハ次年度收入ニ繰入ルルモノトス
新入生徒ハ入會金トシテ金五圓ヲ納ムヘシ但シ特設豫科新入生ハ之ヲ二回ニ分納シ特設豫科入學ノ際金貳圓本科入學ノ際金參圓ヲ納ムヘシ
職員ハ會費トシテ毎月月俸百分ノ一ヲ出金スルモノトス但シ雇員

ハ此ノ限リニアラス

第二十二條 本會ノ會計年度ハ毎年一月ニ始リ十二月ニ終ル

第二十三條 本會ノ豫算ハ毎年各部ヨリ提出セル支出概算書ニ基キ豫算委員會之ヲ調製シ會長之ヲ定ム

各部ノ支出概算書ハ毎年十一月其ノ部委員之ヲ調製シ部長ヲ經テ會長ニ提出スヘシ

第二十四條 豫算委員會ハ左ノ役員ヲ以テ組織シ理事一名之ヲ司會ス

一 理事 二名

一 委員 十三名 第十一條第五項ニ同シ

一 生徒總代 十三名 第十一條第七項ニ同シ

第二十五條 入會金ハ其ノ内十分ノ三ヲ基本金トシテ蓄積シ十分ノ

三ヲ本會使用ノ營造物消却積立金トス

第二十六條 本會ニ於テハ端艇製造費トシテ每年少クモ金四百五拾圓ヲ積立ツルモノトス

第二十七條 各部ニ於テ費用ノ支拂ヲ要スルトキハ其ノ部委員ハ明細書ヲ調製シ部長ノ檢印ヲ經テ理事ニ差出スヘシ

第二十八條 本會毎年度ノ收支決算報告書ハ毎年三月本會雜誌ニ掲載ス

第二十九條 總テ收入金ハ會長ノ名義ヲ以テ確實ナル銀行ニ預ケ入ルルモノトス

附則

第三十條 本規則ヲ變更セントスルトキハ役員總會ノ決議ヲ經テ會長ノ認可ヲ經ルヲ要ス

第三十一條 本會ハ會費未納ノ者ハ其ノ權利ヲ喪失ス

財團法人 **第一高等學校嘯雲寮寄附行爲** (昭和二年一月設立許可)

第一條 本寮ハ財團法人第一高等學校嘯雲寮ト稱ス

第二條 本寮ハ事務所ヲ東京市本郷區向ヶ岡彌生町第一高等學校内ニ置ク

第三條 本寮ハ第一高等學校生徒ノ精神教育及體育上進ノ爲メ適當ナル事業ヲ行フヲ以テ目的トス

第四條 本寮ハ左ノ資産ヲ以テ基本財産トス

一、別紙目錄ニ記載スル不動産及動産(別紙略)

二、第七條ノ規定ニ依ル基本財産編入金

基本財産ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ處分スルコトヲ得ス

第五條 本寮ノ資産ハ理事長之ヲ管理ス但シ現金ハ確實ナル銀行又

ハ遞信官署ニ預ケ入レ保管スルモノトス

第六條 本寮毎年度ノ經費ハ左ニ掲クル收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

一、基本財産其ノ他ノ資産ヨリ生スル收入

二、第八條ノ規定ニ依ル醸出金

三、有志ノ寄附金品

四、雜收入

第七條 毎年度決算ノ結果生シタル剩餘金ハ評議員會ノ決議ヲ經テ

基本財産ニ編入スルコトヲ得

第八條 本寮ノ目的ヲ贊助スル第一高等學校生徒及職員ハ別ニ定ム

ル細則ニ依リ毎年寮費ヲ醸出スルモノトス

第九條 本寮ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十條 本寮ニ左ノ役員ヲ置ク

一、理事 五名 内一名ヲ理事長トス

二、監事 二名

三、評議員 若干名

第十一條 理事長タル理事ハ第一高等學校長タル職ニ在ル者ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ノ理事ハ第一高等學校職員中ニ就キ理事長之ヲ委囑ス

第十二條 評議員ハ理事長之ヲ委囑ス

第十三條 監事ハ評議員會ニ於テ之ヲ選舉ス

第十四條 理事ハ評議員ヲ兼ヌルコトヲ得

第十五條 理事長ハ本寮ヲ代表シ本寮一切ノ事務ヲ統轄ス

理事長事故アルトキハ理事長ノ指名シタル理事其ノ職務ヲ代理ス

第十六條 監事ハ本寮ノ資産及理事ノ事務執行ノ狀況ヲ監査シ不整

ノ廉アリト認メタルトキハ之ヲ評議員會又ハ主務官廳ニ報告スル

コトヲ得

前項ノ報告ヲナス爲メ必要アルトキハ監事ハ評議員會ヲ招集スル

コトヲ得
 第十七條 理事及監事ノ任期ハ各三ケ年、評議員ノ任期ハ一ケ年トス
 但シ再任ヲ妨ケス
 補缺ニ係ル役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
 第十八條 理事及監事ハ任期滿了ノ場合ト雖モ後任者ノ就任スルマ
 テハ尙其ノ職務ヲ行フ
 第十九條 理事長ハ委員ヲ任命シ又ハ事務員ヲ採用スルコトヲ得
 第二十條 評議員會ニ於テ議決スヘキ事項左ノ如シ
 一、 歳入歳出豫算ノ議決
 二、 歳入歳出決算ノ認定
 三、 本寮ノ寮務處理上必要ナル規程ノ制定
 四、 寄附行爲ノ變更其ノ他理事ニ於テ必要ト認め評議員會ニ附
 議シタル事項

第二十一條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ理事長之ヲ招集ス
 評議員會ノ議長ハ理事長之ニ當ル
 第二十二條 評議員會ハ評議員半數以上ノ出席ヲ以テ成立シ議事ハ
 出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル
 所ニ依ル
 第二十三條 寄附行爲ヲ變更セントスルトキハ評議員會ニ於テ評議
 員半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且主務官廳ノ
 認可ヲ受クルコトヲ要ス
 補 則
 第二十四條 本寮解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ハ評議員三分ノ二以
 上ノ同意ヲ得且主務官廳ノ許可ヲ經テ之ヲ公益事業ニ寄附ス
 第二十五條 第十一條ニ依リ選任セララルヘキ理事就任スルニ至ルマ
 テ左記ノ者理事ノ職務ヲ行フ(左記略)

◎ 雜 件

一 本校所在地 東京市本郷區向ヶ岡彌生町
(元富士町、駒込東片町、森川町ニ跨カル)

一 本校電話番號
小石川 一八九八番 庶務掛、教務掛、宿直用
小石川 一二〇三番 會計掛

一 寄宿寮電話番號
小石川 一九九番 寮務掛
小石川 四七八八番 炊事部

昭和六年八月六日印刷
昭和六年八月十日發行

第一高等學校

印刷者 島 連 太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三 秀 舍

東京市神田區美土代町二丁目一番地

東京市神田區美土丸四二丁目一番地

明 暉 池 三 表 舍

明 暉 答 息 蕪 太 順

高 山 學 社

明 暉 六 平 八 尺 十

明 暉 六 平 八 尺 六 日 明 暉



昭和十年六月廿五日

同法科 如

~~~~~





